

2024年度 課題探究Ⅱ

プレゼンテーション講座

石川県立小松高等学校
理数科 2年

11月までの日程

月日曜日			活動内容
9	6	金	⑨ 【全体講座①】スライド、要旨作成講座／研究活動
	13	金	⑩ 研究活動
	20	金	⑪ 研究活動（前期新人大会）
	27	金	⑫ 第2回分野別中間報告会（こまつ研究サポートプログラム）
10	4	金	⑬ 研究活動
	11	金	（中間考查）
	18	金	⑭ 研究活動（マラソン大会予備日）
	25	金	（文化教室） <u>要旨提出締切</u>
11	1	金	会場設営 口頭発表リハーサル（放課後） <u>スライド提出締切</u>
	2	土	⑮ 中間発表会（こまつ研究サポートプログラム）
	8	金	（後期新人大会）
	15	金	⑯ 【全体講座②】ポスター作成講座 ポスター作成／研究（発表会を受けて）
	22	金	（期末考查）
	29	金	⑰ ポスター作成／研究

課題研究 中間発表会

- ・日 時 11月2日(金・祝) 午後
 - ・発表形式 口頭発表
発表時間8分（質疑応答・出入りを含めて11分）
 - ・発表方法 グーグルスライドのスライドを用いた発表
 - ・視聴者
 - ・大学の先生方、教育委員会の先生（講評）
 - ・理数科1年生 　・本校の先生方 　・保護者
 - ・県内中学生・高校生
- など

発表会に向けての準備

<準備するもの>

1. グーグルスライド

- 提出〆切り 11月1日(金) 18:00
(PDF形式)

2. 研究内容の要旨

- 様式にしたがってA4 1枚にグーグルドキュメントで作成
- 図表を1つ以上入れること。
- 提出〆切り 10月25日(金)

作成用のグーグルドキュメントは
準備でき次第、
グーグルクラスマームに載せます。

発表内容(スライド)の構成

-
- | | |
|-------------|---|
| 1. 研究の背景・動機 | ・研究に取り組んだ背景、動機を説明する。
・先行研究の内容 |
| 2. 目的 | ・研究の目的を端的に説明する。
・仮説の提示 |
| 3. 方法 | ・実験、観察、調査の方法を、図や写真を用いてわかりやすく説明する。 |
| 4. 結果 | ・グラフや表を用いて提示する。
・結果が何を意味しているのかを説明する。 |
| 5. 考察・結論 | ・そのような結果が得られた理由などについて考察する。
・研究の目的を対応させて、結論を示す。 |
| 6. 参考文献・謝辞 | ・表記のルールに従って記載する。 |

スライド作成上の注意点

視聴者にとってわかりやすいスライド作りを心がけてください。

- スライドのサイズは16:9(デフォルト)
- 各スライドには見出しをつけ、スライド番号を入れる。
- 文字や図の大きさを適切にする。
- フォントはゴシック、英数字は半角Arial背景はシンプルなデザイン(無地)にする。
- スライドの枚数は、15~20枚程度(発表時間9分)
- 図表を有効に活用

図表に関するルール

- 図表は図と表のそれぞれに通し番号を付ける。
- 図のタイトルは下に、表のタイトルは上に付ける。
- 図表は必ず説明する。表の各項目、グラフの縦軸・横軸は何か。

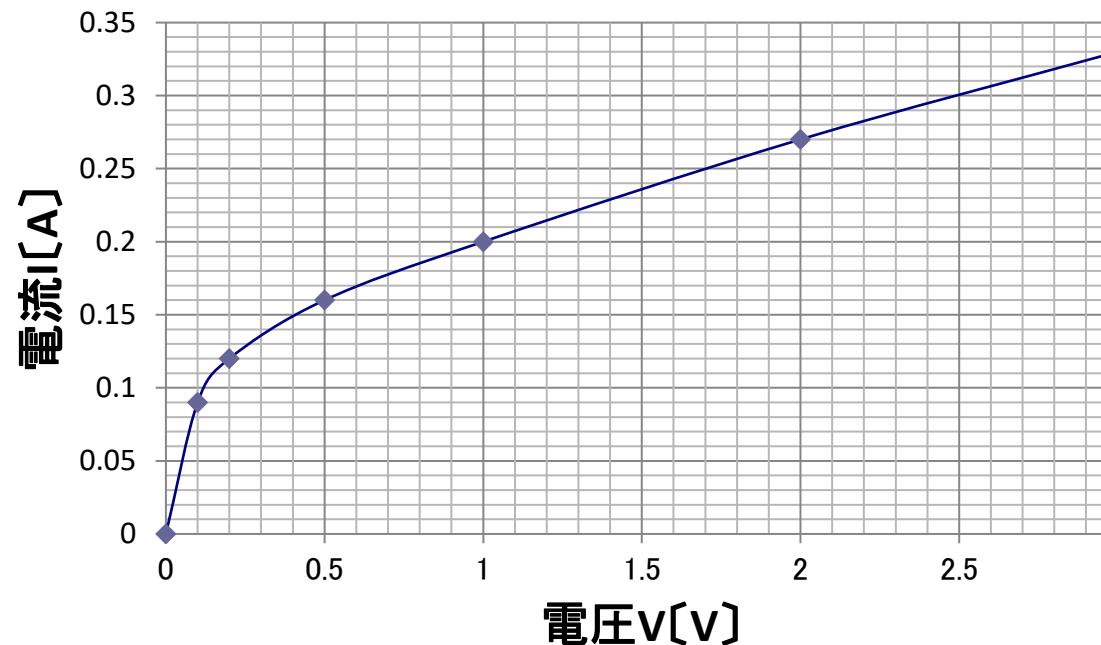


図3 白熱灯の電圧-電流特性

よい発表にするために

発表するときのルール・心構え

- 発表時間を守る(発表時間は8分) 質疑応答・出入り含め11分
- 聴衆を見て話す。
- 原稿を読み上げない(研究内容をしっかりと理解する)。
- スライドに無いことを話さない。
- ポインタで視点を示しながら説明する。
- 図表の読み取り方は必ず説明する。

よりよい発表にするために

- ・わかりやすくしようとする意識をもつ。
- ・必要かつ不可欠な情報だけ示す。
- ・論理的な主張をする。
 1. 論理的なつながりを意識する。
 2. 重要なことから示す。
 3. 聴き手の疑問に配慮する。
 4. 根拠の妥当性:データを正しく解析しているか。
- ・聞き手の知識を想定する。

陥りやすい罠

- スライドの内容が多すぎる。
→ 何を伝えたいかわからない。
- 全面的に色がついていたり、発表者の好きな色が好んで使われている。
→ 伝えたいことが違っている。
- 文字が多い。
→ 聞く人は文字を目で追い、話を聞けない。
- アニメーションを多用
→ 自己満足な世界に入り込んでいる。

質問に答える

- 質問を想定する。(質問対応用のスライドを準備しておくとよい。)
- 質問を促す。
- 落ち着いて最後まで聞く。
- 的確に答える。
- 必要に応じて補足説明する。

要旨について

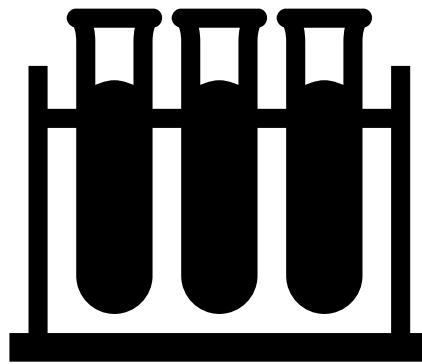
<発表要旨(A4)に書く>

1. 発表テーマ(日本語)
 2. 発表者氏名(姓と名の間は半角スペース、名は全角スペース)
 3. 抄録(研究内容から要点を抜き出して、短くまとめたもの)
 4. 研究の背景と目的
 5. 方法
 6. 結果
 7. 考察
 8. 結論
 9. 参考文献
 10. キーワード
- } 簡潔に伝える
 (図表をいれること)

エントリー希望調査の提出について

- ・ 物理Jrセッション(3月)
- ・ ジュニア農芸化学会(3月)
- ・ 日本細菌学会(3月)
- ・ 植物生理学会(3月)
- ・ 日本地球化学会(9月)
- ・ 集まれ！理系女子(11月、2月)
- ・ つくばサイエンスエッジ(3月)
- ・ 全国SSH生徒研究発表会(来年8月)

これから忙しくなりますが、
充実した課題研究となるように頑張りましょう！



I 学期の振り返りシートを記入してください

- Google classroomの「小松28H 課題探求Ⅱ」にある振り返りシートの質問事項に答えてください(1~4)。
- 「失敗」の例
 - 実験で得た値のとらえ方が適切ではなかった。
 - 得られた値の妥当性を検討しなかった。
 - 実験回数が信頼できるほど多くなかった。
 - 結果を多角的な視点から検証すべきだった。